

第1話 脳卒中全般について

脳卒中はガン、心筋梗塞とともに3大成人病の一つです。
この身近に起る病気について、
分かりやすくご説明することを目的に、
本冊子を作成しました。



① みなさん、脳卒中について、こんなことご存知ですか？

問1：脳卒中は次の3つに大別されます。

その頻度はおよそ脳梗塞が %、脳出血が %、くも膜下出血が %です。

問2：脳卒中直後の死亡率は %です。

問3：死に至らなかった方でも %以上は、日常生活に何らかの介助が
必要な状態となってしまいます。

問4：介護保険における要介護者の %が、脳卒中患者です。

問5：寝たきりとなった方の %が脳卒中後遺症によるとされています。

脳卒中はこのように死亡率が高く、たとえ命を取り留めたとしても、
その後の人生を変えてしまう病気だということが、おわかり頂けたと思います。

② では、どんな人が脳卒中を起こしやすいか、ご存知ですか？

生活習慣病といわれる 、、 などの方。

その他、不整脈の一種である心房細動も危険です。

喫煙、過度な飲酒習慣も高リスクです。タバコは肺ガンだけではなく。



③ 脳梗塞は再発しやすいことをご存知ですか？

脳梗塞では発症後 10 年の間に、 %の方が再発するとの結果が日本の大規模な研究から報告されています。

脳梗塞の患者さんには通常、抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）が処方されます。この薬は、確かに脳梗塞の再発予防には有効ですが、逆に脳出血をきたす危険性も高めます。脳梗塞予防の効果と出血合併のリスクを対比し、その必要性を確認しておくことは大切です。



- 答 ① 問 1： 脳梗塞 70%、脳出血 20%、くも膜下出血 10%
① 問 2： 直後の死亡率はおよそ 15%
① 問 3： 介助の必要な方はおよそ 50%
① 問 4： 約 25%が脳卒中
① 問 5： 約 40%が脳卒中
② : 高血圧症、糖尿病、脂質異常症
③ : 45～75%